

川平地区 社協だより

第83号

令和2年11月1日発行

川平地区社会福祉協議会
発行責任者 会長 伊東 祐朗
編集 地区社協広報部

《コロナ禍の中の社協の歩み》

会長 伊東 祐朗

4月12日書面議決により辛くも新体制が始動。やがて、コロナ禍は全国的に拡大し、4月23日から5月末まで川平コミセンは休館。拠点のない社協の活動は完全に休止・停止の自粛期間となってしまいました。



6月になり定例会議ができました。早速各町内会に赤十字会員募集のお願いをし、連続的に社協会員募集、そして赤い羽根共同募金運動が進行中です。各町内会の福祉友の会が主催する「いきいきサロン」は10月から始まりそうです。実施に当たっては、感染を予防するために手洗いや咳エチケット、マスクをすることや高熱や風邪の症状のある方の活動や参加の自粛などをお願いいたします。なお、先頃各町内会に2本ずつ配付しました手指消毒液（アルコール）もご活用いただければ幸いです。

川平社協が主催の「子育てサロン」（かわだいラッコ）も10月から始まります。3密を避けながらも、今までのような身近さ・親近感・温かさが感じられるような触れ合い方を見つけ出し、「乳幼児親子が安心して訪れる場」を何とかつくりようと知恵を出し合って準備中です。

日赤研修会は、11月14日に人数制限をして実施予定です。市のコロナ感染予防上のガイドラインではホールの収容率は通常の50%以下で50人以下。今回は希望者募集をせず、関係者47人に参加要請していきます。研修会が実施されれば、講話の演題や内容等は次号（84号）の社協だよりに掲載し報告いたします。

令和2年度 川平地区社会福祉協議会総会

「令和2年度 川平地区社会福祉協議会総会」は、今年度は新型コロナウイルス感染拡大予防のため、書面での議決とし、令和2年4月12日、すべての議案について承認されました。

《令和2年度 事業計画》

1. 福祉活動について

（1）「小地域福祉ネットワーク活動」の推進

- ①高齢者、障がい者等世帯の安否確認活動への支援
- ②日常生活支援活動や福祉活動への支援
- *令和2年度社会福祉協議会会費納入額の25%

（2）高齢者を対象とする「いきいきサロン活動」の推進

支援：川平地区社会福祉協議会・川平赤十字奉仕団

○対象：65歳以上の一人暮らしの方、および70歳以上の方

○1回あたり8,000円助成（社協より5,000円、日赤より3,000円）

*年6回まで申請により助成（報告書の提出）

（3）乳幼児親子対象の「子育てサロン活動」の推進

主催：川平地区社会福祉協議会・川平赤十字奉仕団

○子育てサロン「かわだいラッコ」を年間13回開催。

*1回は、中山市民センター・川平マイスクール児童館との共催

*3回は、川平マイスクール児童館との共催

対象：未就学児の親子・家族・妊婦

2. 募金活動について

（1）日本赤十字社会費

5月1日～6月30日・・・日本赤十字社社員増強運動実施

（2）社会福祉協議会会費

7月1日～8月31日・・・会員増強運動実施

（3）赤い羽根共同募金

10月1日～11月30日・・・全国一斉共同募金運動実施

3. 研修活動について
 - (1) 福祉活動研修
 - 高齢者福祉などについて
 - (2) 日赤奉仕団研修
 - 非常災害時の対応などについて
 - (3) その他の研修会
 - 福祉施設・介護施設などの見学や講話
 - 炊き出し研修・非常用炊飯器オプション
4. 広報活動について
 - 「社協だより」年間2回発行予定
 - 第83号（令和2年10月頃）
 - 第84号（令和3年3月頃）
 - *各町内会や各種関係団体の福祉活動紹介
 - *各種研修会・講習会の広報と行事報告など
5. 青少年健全育成活動支援について
 - 桜丘中学校区青少年健全育成協議会への助成
 - 中山中学校区青少年健全育成協議会への助成
 - 川平学びのミュージアム推進委員会への助成
6. 各種行事・研修等への参加について
 - 川平学区連合町内会、福祉関連機関などの行事や会議への積極的参加
 - 川平学区連合町内会、福祉関連機関などの研修会への積極的参加
7. その他
 - 川平赤十字奉仕団倉庫（中山8丁目21-68）の救援装備の保管と活用
 - *非常用炊き出し用具の地域への貸し出し

《令和2年度 社協収支予算》

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

○収入の部		（単位：円）	
科 目	前年度決算額	本年度予算額	
1 会費	794,500	794,500	
1) 普通会費	790,500	790,500	
2) 特別賛助会費	4,000	4,000	
2 助成金	855,750	855,750	
3 事業委託金	59,900	50,000	
4 研修負担金	27,000	30,000	
5 寄付金	50,000	50,000	
6 諸収入	7,006	20,005	
7 繰越金	455,020	555,225	
合 計	2,249,176	2,355,480	

○支出の部		（単位：円）	
科 目	前年度決算額	本年度予算額	
1 会議費	67,467	80,000	
2 旅費	32,000	50,000	
3 渉外費	54,912	55,000	
4 需用費	40,254	55,000	
5 役務費	48,000	60,000	
6 事業費	430,054	473,625	
1) サロン活動費	206,458	250,000	
2) ネットワーク活動費	198,625	198,625	
3) 募金活動費	24,971	25,000	
7 研修費	62,171	70,000	
8 広報費	124,063	150,000	
9 青少年育成助成金	30,000	30,000	
10 送付金	794,500	794,500	
11 諸費	10,530	15,000	
12 予備費	0	522,355	
小 計	1,693,951	2,355,480	
繰越金	555,225	0	
合 計	2,249,176	2,355,480	

《令和2年度 日赤収支予算》

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

○収入の部		（単位：円）	
科 目	前年度決算額	本年度予算額	
1 日赤交付金	279,554	279,554	
2 諸収入	2	5	
繰越金	286,379	272,511	
合 計	565,935	552,070	

○支出の部		（単位：円）	
科 目	前年度決算額	本年度予算額	
1 会議費	24,177	40,000	
2 事務費	53,592	66,000	
① 消耗品費	11,432	13,000	
② 交通費	22,000	30,000	
③ 通信費	0	3,000	
④ 渉外費	20,160	20,000	
3 事業費	204,387	245,000	
① 研修費	48,610	60,000	
② 高齢者福祉費	105,840	120,000	
③ 広報費	21,594	25,000	
④ 募金活動費	24,683	30,000	
⑤ 諸費	3,660	10,000	
4 予備費	11,268	201,070	
小 計	293,424	552,070	
繰越金	272,511	0	
合 計	565,935	552,070	

《令和2年度 役員名簿》

任期 令和2年4月1日～令和3年3月31日

(敬称略)

役職	氏名	推薦団体	備考
会 長 (兼) 川平赤十字奉仕団長 川平地区募金会長	伊東 祐朗	川平団地	
副会長 (兼) 川平赤十字奉仕団副団長 川平地区募金会副会長	阿部 幸子	中山北部	
副会長 (兼) 川平赤十字奉仕団副団長 川平地区募金会副会長	菅沼 勇	川平団地	
総務部長	山本 卓子	西勝山	募金
経理部長(兼)	(阿部幸子)	(中山北部)	
福祉部長	滝川 律子	民児協	
募金部長	石沢 健治	民児協	
広報部長	毛利 幸子	民児協	
総務副部長	菊地 孝	民児協	
経理副部長	筋野マサエ	中山北部	募金責任者
福祉副部長	佐々木宏三	民児協	
募金副部長	谷岡 洋志	川平団地	募金責任者
広報副部長	山内 淑江	民児協	
地域福祉活動推進員	菊池 親	民児協	研修
福祉部員	小野田鶴子	民児協	
福祉部員	佐藤 法夫	川平わかば	募金
福祉部員	柏倉 謙一	川平団地	募金
福祉部員	豊間根義明	杉樹	募金
募金部員	山田 智子	杉樹	募金責任者
募金部員	山本 邦子	中山北部	募金
募金部員	遊佐 洋子	西勝山	募金
監 事	中野 智美	川平わかば	募金責任者
監 事	和泉 忠男	西勝山	募金責任者

○川平赤十字奉仕団では、団長・副団長以外の役員全員が「団員」となります。

○各町内会の福祉部長が募金責任者となります。

《福祉部より》

日頃より地域福祉活動にご理解、ご協力ありがとうございます。

今年の“敬老の日”に総務省から発表された総人口に占める65歳以上の高齢者は28.7%。過去最多の人数で、これからも増えようとしています。少子高齢化やライフスタイルの多様化、家族意識の変容が進む中で、社会的孤立を防ぐためにも、地域とのつながりや、人と接する機会を作ることが大事なのではないでしょうか。

今年はあいにく新型コロナウイルスの影響で福祉活動研修会が中止になり、各町内会の高齢者対象の「いきいきサロン」や乳幼児対象の「子育てサロン」が思うように活動できない状況です。今後は換気、手指の消毒、検温、マスク着用等の対策に気をつけ、感染予防に対処し活動していきたいと思います。各サロンの担当者も多くの人にご参加いただけるよう企画・運営を頑張っておりますので、皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

(川平地区社協福祉部長 滝川律子・記)

《子育てサロン》

令和2年度 「かわだいラッコ」開催予定日

10月23日 (第4金曜)

11月27日 (第4金曜)

12月18日 (第3金曜)

令和3年 1月22日 (第4金曜)

2月26日 (第4金曜)

3月 5日 (第1金曜)

今年度の児童館共催行事はすべて中止となりました。かわだいラッコではコロナ対策に十分留意して準備をしておりますが、コミュニティセンターという会場の特性(地域の諸団体、多くの方が利用します)をご理解の上でご参加ください。水分補給のお飲み物をご持参ください。自由参加型ですが、今後の状況次第によっては予約制にさせていただく場合もあります。

(川平地区主任児童委員 山内淑江・記)

《地域福祉活動》

～川平団地町内会・福祉友の会～

すべての町内活動が中止になりました。川平福祉友の会活動も御多分にもれず中止となりました。川平福祉友の会はサロン会といいきき体操の二本立てでやってきました。高齢者の皆様の健康を思うと、少しでも体を動かしてほしいと思ひまして、包括支援センターから日頃の運動紹介図入りパンフレットをいただき、皆さんにお配りしました。やっとコロナが下火になったかと思ひ8月開催しましたら、またコロナ禍に巻き込まれお休みになりました。スタッフと協議しながら3密にならないよう9月から日頃の体操システムを変えながらいいきき体操を始めました。サロン会は10月8日第1回開催予定です。いつもの季節料理・余興はなくし、落語を聞く会です。新型コロナウイルス、そしてインフルエンザが穏やかになり、皆様が笑顔で心身共々元気で出歩けるよう願っています。(川平団地福祉友の会会長 中田芳江・記)

～杉樹町内会・福祉友の会～

活動状況について

杉樹町内会における福祉友の会の活動については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、本年上期の活動を自粛してきました。最近イベント等の開催が緩和される傾向にあることから、9月下旬に福祉友の会の役員会を開催し下期の活動について協議しました。協議の結果、下記事由により下期の活動についても自粛する結論に至りました。

①県内における最近の感染状況が、春先の非常事態宣言時より多くの感染者が発生している状況にあり、終息の兆しが見られないこと。

②これからの季節はインフルエンザの流行期に当たることから、コロナ禍においてインフルエンザに感染した場合は新型コロナウイルス感染が疑われる等、相当の混乱が予想されること。

以上、残念ではありますが本年度の活動は自粛せざるを得ない状況となりました。来年度はより一層充実した活動にしていきたいと考えておりますので、会員の皆様には楽しみにしてお待ちいただきますようお願いいたします。

(杉樹町内会福祉部長 山田智子・記)

～西勝山町内会・福祉友の会～

毎年6回～7回をめぐりにいいききサロンを実施しておりますが、今年はコロナウイルスの影響で上半期は開催できませんでした。下期の予定は11月頃には西勝山町内会集会所を会場にディスコン大会、12月もクリスマスの時期にお花教室の企画がありますが、いずれもコロナウイルスの影響で未決定です。お正月のお花ですので、是非とも実施したいと考えております。その他の企画はコロナの状況と時期をみて決定したいと思っております。

(西勝山町内会福祉部長 和泉忠男・記)

～中山北部町内会・福祉の会～

安心してサロンを開きたい

令和2年度もたくさんの高齢者の方々に喜んでいただこうと計画を練り、張り切って準備をしていたのに、コロナ感染症のためサロン活動は全くできず残念でなりません。誰もが安心して参加できる日が1日も早く来ることを願っています。11月と12月に予定していますが現状把握をしっかりと決めていきたいと思います。サロンはたくさんの方々が集まり、いっぱいおしゃべりをし、懐かしい歌を歌い、昼食を皆でいただくなど素晴らしい交流の場です。これまで以上に楽しくて元気になってもらうサロンを目指して頑張っていきたいと思ひます。

(中山北部福祉の会会長 加藤和子・記)

～川平わかば町内会・福祉友の会～

敬老の日記念品配布

川平わかば町内会では、例年敬老の日には福祉友の会会員の中の70歳以上の方へ記念品をお渡しし「秋祭り」開催時にお食事会を行っていましたが、今年はコロナウイルス症感染予防のため食事会は中止になり、記念品の配布だけになってしまいましたが、役員と福祉部・文化部両部員の協力もあり、約100世帯への配布を無事終えることができました。皆さんの笑顔を見ることができ嬉しく思ひ、工夫を凝らし何か行事を開催できればと改めて感じました。まずは10月18日に自主防災訓練とスポーツイベントを、10月27日には日帰り温泉旅行を企画しています。無事に開催できることを願っています。

(川平わかば町内会副会長 岩崎功子・記)

編集 後記

今年度最初の発行となります。編集スタッフも新体制になりました。今年度はコロナ禍ですが、内容を工夫し、読みやすい広報誌となるよう努めてまいります。皆様の寄稿をお待ちしています。

《編集スタッフ一同》